

LEARNING THROUGH ART 一次案内

美術による学び研究会 東北・秋田大会

- 日時：平成23年2月11日（金）午後1時20分～2月12日（土）午後1時
- 会場：秋田大学 手形キャンパス 60周年記念ホール 及び大学生協食堂
JR秋田駅からのアクセス：徒歩：駅東口から15分（約1.3Km）／バス：約10分@150円
- 主催：美術による学び研究会 <http://artmanabi.main.jp/>
後援（申請中）：秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、秋田県造形教育研究会、秋田県高等学校教育研究会芸術部会美術部会
- 大会テーマ：『寒い秋田で熱く語るべ ～子どもの学び、教師の学び～』
大会コンセプト：「先達者に学ぶだけなんてもったいない。参加者も大いに語り、学びを深めよう！」
- 参加費：無料 資料代：500円（受付時に頂戴いたします） 【懇親会費：4,000円（学生は半額）】
- 参加対象：美術による学び研究会会員、全国の幼児教育・図工美術教育・国語教育関係者 及び学生、
本大会の趣旨に関心のある一般の方（合計250名先着順）
（中学校美術教科書採択の直前であり、教科書業者の方の参加については事前に大会事務局にお問い合わせください）

7 日程と内容

■2月11日（金）

- 13:00～ 受付（60周年記念ホール入口）
- 13:20～13:30 歓迎の演奏（黒木健&森川勝栄）
- 13:30～13:35 開会行事



13:35～15:30 フォーラムPart 1 「絵画を読み解く ～図工と国語からのアプローチ～」

- 講師 ・上野行一：帝京科学大学教授【図工・美術】（美術による学び研究会代表）
・阿部 昇：秋田大学教授【国語】（秋田大学教育文化学部附属小学校校長）
- 授業実践紹介者
・森實祐里【図画工作】：北海道札幌市立星置東小学校 教諭
【DVD Book「モナリザは怒っている!?—鑑賞する子どものまなざし」授業者】
・京野真樹【国語】：秋田県湯上市立大久保小学校 教諭【教育専門監】

◎小・中学校国語の新学習指導要領に、絵や写真、芸術作品を介した内容が登場します。
例えば国語の授業で行われる絵画を介した学習諸活動、そして図画工作・美術での鑑賞活動、その相互の教科性や実践から鑑賞活動の可能性を探っていきます。参加者の意見交換時間を可能な限り多く設定する予定です。

16:00～18:00 食堂で語るべ「ワールドカフェ」

- ◎参加者がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間で知識や知恵は創発される、そんな発想から生まれた「ワールドカフェ」を学生のカフェである「生協食堂」で行います。
■ワールドカフェとは・・・<http://p.tl/Tgzg> <http://p.tl/N3Vk>
そこで交わされるテーマはネット上（後述の「交流ブログ」）で開催直前まで吟味され、決定していきます。

18:30～20:00 もっと語るべ「懇親会」 @生協食堂

- ◎発表者と参加者による懇親会は、学び研のモットーである「オープンでフラット」な雰囲気を大切にしながらワールドカフェに引き続き同会場で開催します。
第2回大会の甲府でのテーマドリンクは葡萄酒、第3回大会の府中ではビールでした。そして第4回の東北・秋田は・・・そうです「日本酒」です。

国語と図工美術

■2月12日（土）

9:00～9:30 受付

9:30～11:20 フォーラムPart 2 「子どもの学び、美大生の学び、教師の学び」

- 話題提供者
・梶岡 創（滋賀県大津市立瀬田北中学校 教諭）【ブログ「B-side 美術教育雑感」運営】
・高貫結実乃／鈴木香奈子／男鹿哲平（武蔵野美術大学3年生）
【第49回大学美術教育学会東京大会 全国美術教育学生会議運営・旅するムサビプロジェクト】
◎子どもたち、美大生、そして図工美術の教師に起こった変化、変容、気づき、つまずき、そしてバージョンアップ、そんな様々なChange, Growthを紹介し合い、参加者自身のこれまで、これからは重ねていきます。その先にあるものは「授業改善、子どもの笑顔」です。ここでも参加者の意見交換時間を多く（1時間程度）設定する予定です。

11:30～12:30 フォーラムPart 3 「第6回鑑賞教育フォーラム」

- 上野行一（帝京科学大学）& 奥村高明（国立教育政策研究所）& 一條彰子（東京国立近代美術館）
◎鑑賞授業の評価方法についても触れながら、意見交換の時間も設定します。

12:30～13:00 閉会行事

- ◎参加者からの声を頂戴し、最後は参加者全員の記念写真撮影で2日間の日程を閉じます。

8 情報交流

- ◎大会の様子はインターネットのUstreamで配信し、さらにその映像にTwitterのタイムラインも重ね、当日秋田に来ることが出来なかった学び研会員もTwitterにより意見交換に参加できるように設定する予定です。（参加の皆様には大会中の様子がネット配信されることにご理解いただき申し込みいただきますようお願いいたします。）
また、以下の交流ブログを設置しました。どなたでも書き込みは自由ですので、要望やご意見などもお気軽に書き込みください。運営事務局からの連絡や大会の最新情報もここがプラットフォームとなりますので折々に見ていただければ幸いです。

交流ブログ→ <http://manabiken.seesaa.net/>

二次案内もここにアップいたします。

9 宿泊について

- ◎各自での手配をお願いいたします。上記交流ブログに宿泊情報をアップしておりますのでご活用ください。

10 参加申込みについて

以下の枠内1～4の事項を電子メールにてお送りください。（締切：平成23年1月末日）

- | | | |
|---|--------|-----------|
| 1. ご芳名： | 2. 所属： | 3. 都道府県名： |
| 4. 参加の日程（該当するものに◎印）（ ）2/11 （ ）懇親会 （ ）2/12 | | |

宛先：kataruve@yahogroups.jp 【大会事務局 森 久樹】

- ◎大会中、そして大会後の相互交流を図るために、上記の内容による大会参加者名簿を発行したいと考えております。名簿に掲載を望まない方はその旨をご記入ください。
- ◎会場収容人数の都合で参加者の上限が250名となっております。予めご了承ください。

11 ドネーション（寄付、助成）のお願い

- ◎今大会はより多くの方に参加していただけるよう参加費、資料代を最低限に設定しておりますが、運営スタッフによる様々な工夫によって実施しているのが実情です。つきましては今回の企画への賛同、内容の評価などの対価として寄付を頂戴できれば幸いです。現金に限らず各家庭などで眠っている商品券や図書カードなどでも結構です。よろしくお願いいたします。

12 大会のお問い合わせ先 大会事務局 黒木 健 (kataruve@yahogroups.jp)